

COLLECTION EXHIBITION



奥田元宗「秋登賞助」1977年

Summer Museum:

# Art Textbooks!

Encounter and Learn about  
Famous Works and Artists

サマーミュージアム



圓筒勝三「基座」1960年

# 美術の

「あの作品、あの作家」と出会う、学ぶ

# 教科書!

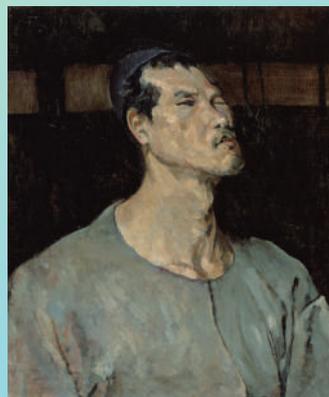
フリー  
トークデー

9/28(土)

自由に感想を話しながら  
展覧会を楽しもう!



重要文化財「伊万里色絵花卉文輪花鉢(椿右衛門様式)」17世紀後半



鏡光「帽子をかぶる自画像」1943年

2024 7/19(金) ▶ 10/6(日)

【開館時間】9:00~17:00 【休館日】8月26日(月)、9月30日(月)

※9月23日までの金曜日は20時まで開館、9月24日からの金曜日は19時まで開館 ※入場は閉館の30分前まで

【入館料】一般510(410)円／大学生310(250)円 ※( )内は20名以上の団体

【縮景園共通券】一般610円／大学生350円 ※特別展は別料金

◎高校生以下無料 ◎当館で開催中の特別展入館券にて無料でご覧いただけます。

◎障害者手帳をお持ちの方や65才以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料(1階総合受付でお申し出ください)。

第  
2  
期



広島県立美術館  
Hiroshima Prefectural Art Museum

2階展示室

〒730-0014 広島市中区1階町2-22  
tel.082-221-6246 fax.082-221-1444

## 【概要】

### 所蔵作品展 第2期 美術の教科書！『あの作品、あの作家』と出会う、学ぶ

1968（昭和 43）年に開館した広島県立美術館は、1996（平成 8）年に現在の建物に生まれ変わり、所蔵作品展と特別展という両輪によって美術の魅力を発信しています。

当館は開館以来、多くの方々のご協力を得てコレクションを充実させてまいりました。収集重点方針として「広島県ゆかりの美術」「1920～30年代の美術」「日本およびアジアの工芸」を掲げ、現在は総数 5,200 点を超えています。

さて、今期の所蔵作品展は、県内の巨匠を一望できる「ウェルカムギャラリー」とサマーミュージアム「美術の教科書！『あの作品、あの作家』と出会う、学ぶ」の2本立てとし、バラエティ豊かなコレクションに新たな視点を吹きこんでご紹介いたします。

皆さまに感想をお書きいただき交流できるコーナーや対話型鑑賞会、Instagramのライブ配信といった関連イベントも開催しつつ、さまざまな角度から当館コレクションの魅力を発信します。また、今期もフリートークデーを継続いたします。

ご来館のたびに新しい美の魅力を発見し、心とんでいただける展示を目指し、今後も努力を重ねてまいります。今期の当館の活動にもご期待ください。

## 【第1展示室】

### 美術の教科書！ 「西洋近代美術」と出会う、学ぶ

美術や図画工作の教科書には、さまざまな芸術家の作品や技法が紹介されています。この展示室では、実際に広島県内で用いられている教科書を交えながら、作品の「見方」を広げてもらえるよう、ヨーロッパの近代美術作品を紹介します。

まず、画家サルバドール・ダリが美術を学ぶ中で「手本」＝「教科書」とした作家・作品をご覧ください。例えば、ダリはジャン＝フランソワ・ミレーの代表作《晩鐘》<sup>ばんしょう</sup>に生涯魅了され、版画集『マルドロールの歌』では、《晩鐘》に描かれた農民夫婦を幾度も作中に描きました。

また、「コラージュ（貼り絵）」や「フロッタージュ（擦り出し）」のように、今日の教科書に掲載されている技法を用いたクルト・シュヴィッターズやマックス・エルンストらの作品を展示します。その他、展示方法の違いなどによって作品の見え方がどう変わるか、体験してみてください。

美術という科目には教科書があります。ただし、作品の見方は決して一つではありません。展示方法や技法などを見比べながら、自分なりに感じて、楽しんでいただければ幸いです。



クルト・シュヴィッターズ  
 《メルツ 394，ピナコテーク》  
 1922年

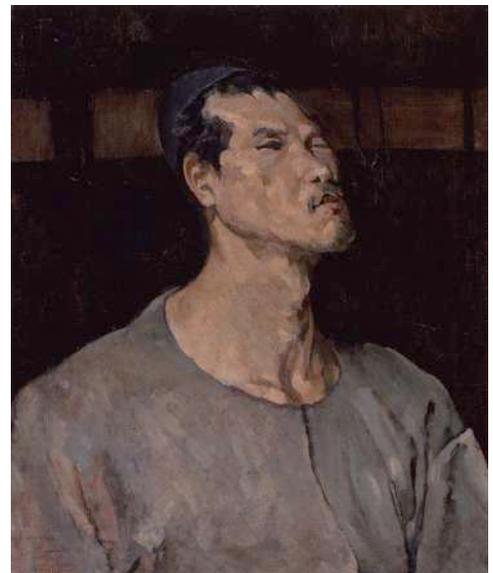
## 【第2展示室】

### 美術の教科書！「日本の洋画」と出会う、学ぶ

この展示室では学校で使われる教科書や副読本に掲載された作品や作家を手掛かりに、日本洋画の歴史をたどります。

江戸時代の終わりに海外から、機械の構造などを正確に伝えることができる描画方法が紹介されました。「西洋画」と呼ばれるようになったこの技法は、図面を必要とする産業技術者には好評でしたが絵画としては不評で、ようやく人気が出てきたのは明治の中頃でした。この頃に活躍したこばやしせんこ小林千古やみなみくんぞう南薫造の作品からは、人々がこうした絵を「洋画」と呼んで受け入れていった時代の雰囲気を感じられます。

明治の終わりから昭和にかけて活躍したよしだひろし吉田博やこばやしわさく小林和作は、洋画の技法を用いながら日本ならではの風物を描き出そうと奮闘します。そして、絵を描くことにも多くの制限が加えられた第二次世界大戦中でさえ独自の表現を追究し続けたあいみつ鬚光らの作品。戦後、次々に生まれる新しい美術の中で、さらに未来の美術を目指したすがいくみ菅井汲やたかはししゅう高橋秀らの作品へと、時代によって共通する雰囲気や、制作時期は同じでも作家ごとに異なる表現など、作品それぞれが放つ豊かな個性をお楽しみください。



鬚光《帽子をかむる自画像》  
 1943年

## 【第3展示室】

美術の教科書！ 建築をキーワードに「日本画」と出会う、学ぶ

美術というと、絵画や彫刻、工芸作品などを思い浮かべるでしょうか。美術の教科書には、さまざまな建築物も掲載されています。建築は土地の気候や風土、生活様式などに関わり、公共空間にも溶け込むことから、時代や国境を越えて、さまざまな絵画作品で題材に採られています。

例えば、<sup>かんだみちえ</sup>神田三千枝《タリンの丘》は北欧エストニアの首都タリンに取材したのですが、オレンジ色の尖った屋根が特徴の町並みは、女性を描くことを命題とする作者にとっても魅力あるモチーフであったようです。

また、<sup>ひらやまいくお</sup>平山郁夫《広島生変図》には燃える市街に原爆ドームと不動明王が描かれています。原爆ドームには被爆都市を象徴するモチーフとして、再生と平和を願う画家の思いが託されているでしょう。

今日、世界文化遺産として紹介される建築は、古くから画家たちのこころを刺激し、多くの絵画作品を生みました。この展示室では、建築の力を感じながら日本画作品をご鑑賞ください。



神田三千枝《タリンの丘》1972年

## 【第4展示室】

美術の教科書！ 「工芸」と出会う、学ぶ

図画工作・美術や社会科の教科書を開くと、土や金属、木、竹、絹…など、実にさまざまな種類の素材で作られた工芸作品が、その素材の特色とともに紹介されています。このたびの展示では、この「素材」という要素に意識を向けながら、作品をご案内いたしましょう。

例えば、「土」には力を加えると容易に変形し、かつ、その形を保つことのできる<sup>かそ</sup>可塑性という性質があります。ほかに、「竹」には大きく曲げても折れない<sup>だんりよく</sup>弾力性、「金属」には加熱すると融ける<sup>と</sup>溶融性<sup>ようゆうせい</sup>など、素材には作品の形に深く関わる性質が備わっています。また、「土」でできた陶器に温かみを感じたり、「ガラス」を使った七宝に涼を感じたりと、素材の特性は作品のたたずまいや質感にもつながっているといえるでしょう。

まずは、工芸の素材は多様であること、素材は作品の造形や質感に深く関わっていることをご覧いただき、さらに美術と他の教科とのつながりにも関心を広げていただければ幸いです。

このほか、ずばり教科書に掲載された名品、異素材を組み合わせる新たな表現を目指した作品などもご紹介します。ぜひごゆっくりご鑑賞ください。



重要文化財  
《伊万里色絵花卉文輪花鉢柿右衛門様式》  
17世紀後半

### 【ウェルカムギャラリー】

当館では、リニューアルオープン 25 周年を機に、新たな展示コーナーとしてウェルカムギャラリーを設けました。皆さまへの歓迎の気持ちと、「多くの方々の美術への誘いとなるように」との願いを込め、この場所を「ウェルカムギャラリー」と命名しました。当館の顔ともいふべき大理石に囲まれた展示室で、分かりやすい作品解説をご用意しています。また、当館の成り立ちをご紹介する動画を展示室の入口で上映しています。

本展では、「これが、県美の広島愛」をテーマに、広島県ゆかりの著名作家である、洋画家の小林千古・南薫造・皚光、日本画家の児玉希望・奥田元宋・平山郁夫、彫刻家の平櫛田中・圓鍔勝三、工芸作家の六角紫水・清水南山・今井政之の作品を一堂に展示します。作家を育んだ広島という地域の特性や、作家の広島への想いを伝えるエピソードと合わせて、当館が誇る名品の数々をご覧ください。

また、1階図書室では美術をテーマにしたマンガコーナーを設けるなど、多くの方々に美術に親しんでいただく場をご用意しています。

美術が好きな方も、これから好きになる方も、どうぞお気軽にお楽しみください。



## 【関連イベント】

### ■インスタライブ配信

閉館後の展示室内からギャラリートークをライブ配信します。(約 15 分間)

- ①西洋美術 2024 年7月 23 日 (火) 17:00 ~ 講師：山下寿水 (当館主任学芸員)
- ②日本洋画 2024 年8月 20 日 (火) 17:00 ~ 講師：角田 新 (当館主任学芸員)
- ③日本画 2024 年9月 3日 (火) 17:00 ~ 講師：隅川明宏 (当館主任学芸員)
- ④工芸 2024 年9月 24 日 (火) 17:00 ~ 講師：岡地 智子 (当館主任学芸員)

公式インスタグラムはこちら



### ■フリートークデー 2024 年 9 月 28 日 (土) 9:00 ~ 17:00

子供も大人も自由に感想を話しながら気兼ねなく展覧会を楽しんでいただけるよう、フリートークデーを試行的に実施。当日は各種イベントも併せて行います。



#### ●対話によるギャラリートーク

13:00 ~ 14:00

講師：福田 浩子 (当館学芸課長)、山下 寿水 (当館主任学芸員)、岡地 智子 (当館主任学芸員)

所蔵作品展に出品中の作品から、学芸員が選んだいくつかの作品をみんなでお話しながら鑑賞します。

※事前申込制 [定員8名]

※要入館券、2階展示室入口にお集まりください。

#### ●作品を探しに行こう!

当館所蔵品の一部がプリントされた缶バッジを配布します。どの作品か、展示室に作品を探しに行こう。

先着：100 名

※要入館券

## 【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。

※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。

※画像については提供が可能です。掲載の際に画像が必要な場合は、当館へお問い合わせください。

※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館へ提出していただき、  
1週間程度お時間を頂きます。ご了承ください。

※展示室内での筆記具の使用は鉛筆のみでお願いします。(ボールペンなど使用不可)

問い合わせ先

広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町 2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail iroeuma2@gmail.com

担当 学芸課 山下寿水

総務課 広報担当 一色直香

公式 SNS はこちらから

